

学校名	花田養護学校	
ホームページURL	なし	児童・生徒数 102名
(1) テーマ 「主体的に取り組む学習」 テーマの分類 (ーウ、)	(2) 活動の単位に をつけてください 学級・同一学年・3～4年 5～6年・学校・ その他(中学部2グループ) 該当学年 年 (回答可能な場合)	
(3) 活動のねらい ・生徒の生活に根ざした、生徒の興味のあるものから学習内容を選定することで、より主体的な学習態度を身に付ける。		
(4) 活動の実際(活動内容、学習方法、学習形態、学習環境等) ・単元名：諏訪湖で泳ぐ!? 諏訪湖水泳大会の新聞記事から、学習が始まる。 諏訪湖の見学(釜口水門周辺)。 アオコについての資料収集(インターネット、図書館、漁業組合・信州大学理学部付属諏訪臨湖実験所に問い合わせ。など) 新聞形式にまとめる。 時数(19)		
(5) 指導体制(校内体制、地域人材の活用、安全面での配慮等) ・中学部2グループ(準じた指導、領域・教科を合わせた指導が教育課程の中心) 生徒3名、職員3名 ・漁業組合・臨湖実験所の方々など、 ・担当を明確にしなが、安全面の配慮をしている。		
(6) 指導上の留意点(時間数の取り扱い、各教科との連携、家庭・地域との連携等) ・生徒自らの体験を多く取り入れる。 ・季節や行事との関連と、諏訪地域について調べたり、地域の方々との交流を大切にする。 ・学習カードの利用や、調べたことを新聞形式にまとめる。		
(7) 評価(基本的な考え方、評価の内容及び方法、評価の実際) ・単元の中での学習カードや学習態度による評価をしながら、我々が生徒一人一人を見る目を育てていくとともに、長期にわたる評価を継続しながら、個別の指導計画に照らし合わせ、定期的にその見直しもしている。		
(8) 成果と課題 ・季節的内容を大切にすることで、抵抗なく話題にはいることができている。 ・生徒の生活に関連した内容を中心にするので、わからないことがあっても家の人や身近な人に聞いてみよう、インターネットで調べてみようというように、学習に手がかりが見つけやすい。 ・生徒の実態の把握と学習内容の選定についての検討がさらに大切になってくる。 ・話し合い活動が多くなっていくので、個々で調べたことを発表し合う場の工夫などさらに深まりのある話し合いになるような工夫が必要になる。		

テーマの分類 横断的・総合的な課題(ーア 国際理解 ーイ 情報 ーウ 環境
 ーエ 福祉・健康 ーオ その他) 児童生徒の興味・関心に基づく課題 地域や
学校の特色に応じた課題